

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PROTEOSTAT® PDI アッセイキット
製品番号 : ENZ-51024-KP002, ENZ-51024-KP050 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : Stop Reagent
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性液体:区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分 4

急性毒性(経皮):区分 3

急性毒性(吸入):区分 2

皮膚腐食性/刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

発がん性:区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(呼吸器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ:酸化性物質

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有毒

吸入すると生命に危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

発がんのおそれの疑い

臓器の障害(呼吸器)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器)

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

衣類及び可燃物から遠ざけること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。
漏出物を回収すること。
特別な処置が緊急に必要である。
直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
特定の物理的及び化学的危険性
酸化性がある物質である。有機物、可燃性物質を発火させる恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	官報公示整理番号
過酸化水素	30	7722-84-1	1-419

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分 過酸化水素
安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 過酸化水素

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水/シャワーで洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用する。

火気に注意する。適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性、発がん性、高い吸入毒性を有する製品。寸秒でも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。また防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、毒性または腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

安全に対処できるならば容器を安全な場所に移動する。

移動不可能な場合、霧状水により容器を冷却する。

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。河川、下水、土壌等への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

おがくず他可燃性吸収物質に吸収させてはならない。

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

こぼれた物質、薬品が付着した可燃性物質は多量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。有機物、可燃性物質を漏洩物から隔離する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

衣類、可燃物などから遠ざけること。

(注意事項)

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
(薬品の付着した衣類はすぐに水に浸漬する等、乾燥を避けること。)

保管

安全な保管条件

施設して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
光を避けること。酸化性物質、可燃物との貯蔵は避ける。暖かい場所に置かない。
4°Cで保存すること。異物混入を避けること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(過酸化水素)

ACGIH(1996) TWA: 1ppm (眼, 上気道及び皮膚刺激)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。
密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(酸性ガス用防毒マスク)

手の保護具

保護手袋を着用する。(ニトリルゴム、天然ゴムは使用に適さない。)

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：データなし

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

水と酸素ガスに分解する。

化学的安定性

通常の実験条件において安定である。

危険有害反応可能性

強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と激しく反応する。

避けるべき条件

直射日光、熱、火気、異物混入

混触危険物質

重金属、アルカリ、有機物、可燃性物質、強還元性物質

危険有害な分解生成物

酸素ガス

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

rat LD50=805mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

rabbit LD50=690mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

mist: mouse LC50=0.46-1.00mg/L/4hr (DFGOT vol.26, 2011)

労働基準法: 疾病化学物質

過酸化水素

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

ラビット 腐食性 (EU-RAR, 2003 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

動物 腐食性 (EU-RAR, 2003)

呼吸器感受性又は皮膚感受性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

cat.2; ACGIH A3 (ACGIH 7th, 2001)

(過酸化水素)

IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(過酸化水素)

ACGIH-A3(1996) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

呼吸器 (ACGIH, 2001; EU-RAR, 2003)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

呼吸器 (EU-RAR, 2003)

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(過酸化水素)

藻類 (ニッチア) EC50=0.85mg/L/72hr (EU-RAR, 2003)

水溶解度

(過酸化水素)

混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(過酸化水素)

急速分解性あり (EU-RAR, 2003)

生体蓄積性

(過酸化水素)

log Pow=-1.36 (ICSC, 2000)

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。製品が付着した可燃物(ウエス等)は水で洗い流してから廃棄すること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。廃棄方法については、専門家の指示を求める。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

洗浄時に生じる高濃度の汚染水が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 2014

品名(国連輸送名) :

過酸化水素、水溶液、濃度が20質量%以上40質量%以下のもの(必要に応じて安定剤を加えたもの)

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 5.1

国連分類(輸送における危険有害性副次リスク) : 8

容器等級 : II

指針番号 : 140

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。可燃物との接触は避ける。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Y類) 過酸化水素

国内規制がある場合の規制情報

毒劇法の規定に従う。
船舶安全法 酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1
航空法 酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

15. 適用法令**毒物及び劇物取締法**

劇物(令第2条) 過酸化水素(30%)(法令番号 19)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物 過酸化水素(別表第9の126)

名称等を通知すべき危険/有害物 過酸化水素(別表第9の126)

化学物質管理促進(PRTR)法: 非該当

消防法: 非該当

化審法

優先評価化学物質 過酸化水素(政令番号89 生態影響)

水質汚濁防止法

指定物質 過酸化水素 法令番号 4

16. その他の情報**参考文献**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PROTEOSTAT® PDI アッセイキット
製品番号 : ENZ-51024-KP002, ENZ-51024-KP050 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : PROTEOSTAT® PDI Detection Reagent
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器)

GHSラベル要素



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害のおそれ(呼吸器)

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	官報公示整理番号
ジメチルスルホキサイド	≥90	67-68-5	2-1553

上記以外の成分：蛍光色素

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、毒性または腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸保護具、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚や眼との接触を避けること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管**安全な保管条件**

- 70℃で保存すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
- 光を避けること。

安全な容器包装材料

- 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止**設備対策**

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具**呼吸用保護具**

- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：データなし

臭い：特異臭

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：87℃(密閉式,100% DMSO)

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：混和する

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性**反応性**

- データなし

化学的安定性

- 光により変質するおそれがある。

危険有害反応可能性

- 通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

直射日光、熱、高温、火気

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、硫酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

rat LD50=14500mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

rat LD50=40000mg/kg (環境省リスク評価書第13巻, 2015)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

mist: rat LC50 >5330mg/m³ (5.33mg/L) (SIDS, 2008)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性: データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データなし

呼吸器感受性又は皮膚感受性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

発がん性: データなし

催奇形性: データなし

生殖毒性: データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

呼吸器 (SIDS, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): データなし

誤えん有害性: データなし

潜在的な健康への影響: この製品(蛍光染色色素)は特徴として核酸と結合能を有するため、またジメチルスルホキサイドは経皮浸透性が高く、溶質である化学物質の浸透を促進するため、潜在的変異原として認識し、適切な注意を払って使用すること。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ジメチルスルホキサイド)

甲殻類(ブラインシュリンプ) EC50=6830mg/L/24hr (環境省リスク評価第13巻, 2015)

水溶解度

(ジメチルスルホキサイド)

混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性: データなし

生体蓄積性

(ジメチルスルホキサイド)

log Pow=-1.35 (calculated) (ICSC, 2000)

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

消防法の規定に従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当

消防法 : 第4類 引火性液体第3石油類(水溶性) 危険等級 III(指定数量 4,000L)

化審法 : 非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PROTEOSTAT® PDI アッセイキット
製品番号 : ENZ-51024-KP002, ENZ-51024-KP050 (メーカー略号: ENZ)
構成品名 : ①PDI (recombinant, human)
②Insulin (lyophilized)
③Bacitracin (Inhibitor Control, Lyophilized)
④PBE Buffer
⑤DTT (10mM)
⑥Deionized Water
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

GHSラベル要素

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 : PDI(①)、非公開(④)、10mM DTT(⑤)

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
成分 : インスリン(②)、バシトラシン(③)、Water(⑥)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸保護具、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

特別な技術的対策は必要としない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

-70℃で保存すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

光を避けること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では要求されていない。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体(①、④～⑥) 固体(②、③)
色：データなし
臭い：特異臭
融点/凝固点：データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：データなし
動粘性率：データなし
水に対する溶解度：可溶
溶媒に対する溶解度：データなし
n-オクタノール/水分配係数：データなし
蒸気圧：データなし
密度/相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。
避けるべき条件
直射日光、熱、高温、火気
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
通常保管および使用条件下では有害な生成物は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性：データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性：データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性：データなし
生殖細胞変異原性：データなし
発がん性：データなし
催奇形性：データなし
生殖毒性：データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)：データなし
誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし
残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。